

「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業費」報告書

(令和7年度 郡山東高校地域課題探究)

< 目的 >

正解のない地域社会の諸課題に対し、現地調査や客観的なデータの分析を行うとともに、当事者や参加者など様々な人々の思いに触れ、自分なりの考えを構築しその言語化を図る。

<PHASE I > 出前講座『今後のエネルギー供給のあり方と福島復興』

- 期日 令和7年6月6日(金) 13:30~15:00 [視聴覚室]
- 講師 木野 正登 先生 [経済産業省東北経済産業局資源エネルギー環境部長]
- 参加者 1年生(14)・2年生(10名)・3年生(4名) = 計28名

<PHASE II > 『浜通りに行こう! 2025~福島第一原子力発電所視察と「語り部」講話~』

- 期日 令和7年7月24日(木)

○行程

本校出発 [正門前]	7:00	(あぶくま高原道路経由)	
【東京電力廃炉資料館】着			~9:00
・「廃炉資料館」見学			
・「福島第一原子力発電所」視察			
【東京電力廃炉資料館】発 (車窓からの巡検)	11:50~		
【請戸浜】見学 (「ウルトラ警察隊」にインタビュー)	12:20~12:45		
【東日本大震災・原子力災害伝承館】着	12:55		
・昼食	12:55~13:30		
・「伝承館」展示見学	13:35~14:25		
・「語り部講話」	14:30~15:20		
・振り返り(ワークショップ形式)・写真撮影	15:25~16:20		
【東日本大震災・原子力災害伝承館】発	16:30		

本校到着 18:30頃 (国道288号線経由)

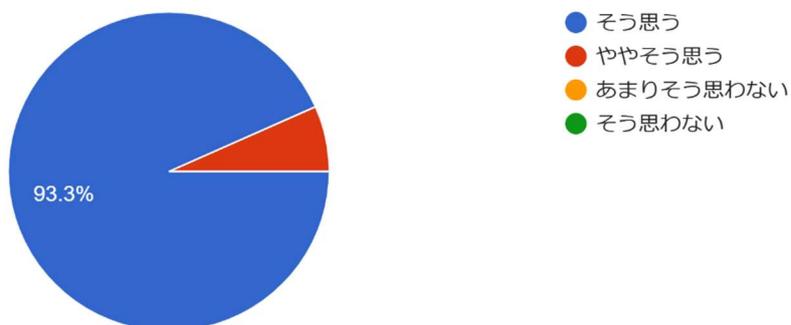
- 参加者 1年生(8名)・2年生(7名)・3年生(4名)・引率(1名) = 計20名

< 事後アンケート実施 >

7月25日(金)~7月28日(月) 有効回答15名

1 【東京電力福島第一原子力発電所（廃炉資料館を含む）】の視察は有意義でしたか？

15件の回答



<そう思う>

- 現場の取り組みや課題の深さを実感できたから。
- 現在の原発の状況を間近で見ることが出来たから。
- 実際の場所を訪れることで放射線の危険性が実感できたから。
- 普段見ることができないところを見ることができた。
- 今までテレビなどのメディアで見ることが多かったが、今回実際に原子力発電所を間近で見ることができとてもいい経験になったから。
- 東日本大震災により、爆発してしまった原発が現在どのようになっているか知れたから。
- 原子力発電所の現状を自分の目で見ることで今後の福島の復興についてより深く考えることができたから。また廃炉資料館では現在行われている取り組みが詳しくしれて良かった。
- 普段は見ることが出来ない原発の現状を自分の目で見て、多くの人の努力の結果、今の福島があるのだと実感できたから。
- 今までには未だに周辺に人が入れないほど荒廃しているイメージでしたが、実際は多数の作業員や重機が運びこまれて廃炉が進められていて、驚いたからです。
- 原発事故の現場を「自分の目で見る」ことができたから。教科書やニュースで見るだけでなく、実際に現地に足を運び、自分の目で確認できたことで、事故の深刻さや影響大きさを感じられたから。
- 普段生活しているだけではわからないことを知れたから。
- 原発事故が起きた理由や過程、被害、現在進められていることを実際に目で見て理解を深めることができたから。
- なぜ原発事故が起きたのか分かりやすく知ることができたから。
- 第一原子力発電書の話はたくさん聞いたが実物をみたのは初めてだったから。

<ややそう思う>

- 発電所には行くことができなかったが、廃炉資料館で発電所について知ることができたから。

3 【東日本大震災・原子力災害伝承館】の展示見学は有意義でしたか？

15件の回答

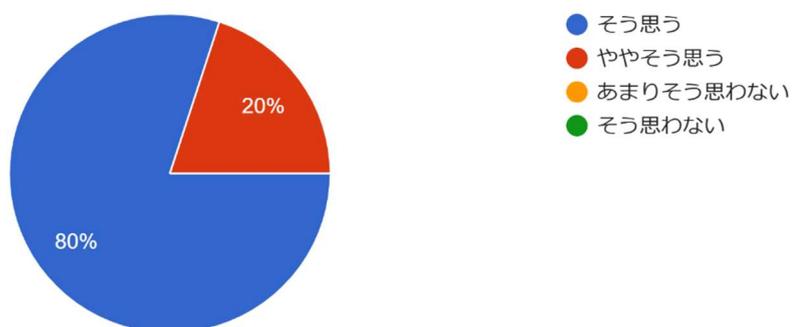


<そう思う>

- 被災者の証言や資料を通して、当時の出来事を具体的に理解することができたから。
- 当時被災した人の記憶などの資料がたくさんあってもっと深く知ることが出来た。
- 中学の頃1度行って今回が2度目でしたがいつ見ても当時の原爆の被害を感じれるから。
- 多くの資料が見ることができた。
- 映像や年表を展示の中で見て、知らなかった情報や震災の詳細を知ることができたから。
- それぞれの視点から震災のことを聞いたり見たりできたから。
- 当時の手紙や日記、詳しいことを知れたから。
- 自分は震災当時の記憶が無いので映像や資料を通して当時の悲惨な状況を見て震災のもたらす被害について考えることができたから。
- 展示してあった当時の写真が悲痛だったから。
- 災害当時の現地の様子について全く知識がなく、また当時の内閣の対応についても知らなかったため、ほとんどの展示が新しい知識として残りました。津波の威力についても、多数の破損した物品を見て震え上がりました。
- 地震や津波、そして福島第一原子力発電所事故がどのように起きたのかを、映像や資料で詳しく知ることができ、当時の状況をより現実的に理解できたから。
- 映像や説明によって当時の悲惨さを知れたから。
- 展示された写真や動画、物を見て津波な地震などの恐ろしさや当時の状況を知ることができたから。
- 当時の史料やさまざまな写真がありよく理解できたから。
- 当時の映像やものがしっかりと保存されていて自分の心にぐっときました。

4 【東日本大震災・原子力災害伝承館】の「語り部講話」は有意義でしたか？

15件の回答



<そう思う>

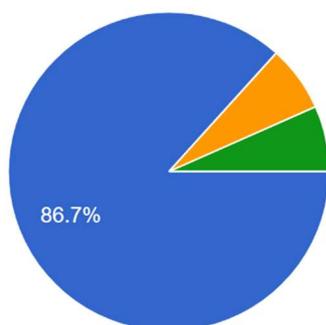
- ・実際に体験した人だからこそ語れる現実や心の葛藤などをきけたから。
- ・当時の小学生から見た震災の様子を聞くことが出来て良かったです。
- ・当時被害を受けた方の話を聞くことによって理解が深まるから。
- ・人の方から直接当時のことが詳しく聞けた
- ・語り部の方の話を聞いて、これから私たちがどう活動していくべきか考えさせられたから。
- ・実際に震災を経験した方からしか聞くことのできない貴重なお話を聞き、震災をより身近に感じることが出来たから。
- ・伝承館の他の展示では、地方行政や政府の組織的な対応についての展示が殆どで、個人の避難や対応については知ることができなかつたため、これもまた有意義でした。
- ・東日本大震災を忘れないで欲しいという語り部の言葉に重みがあり、風化させてはいけない記憶だと感じる事ができたから。
- ・客観的だけでなく、その人に起こったことが具体的にしれたから。
- ・恐怖や教訓となることを心に刻むことができ、当事者の方の思いを受け取ることができたから話を聞くことで、さらに理解やイメージが広がったから。
- ・震災を実際に経験した方のお話を聞き当時の恐怖や心細かった気持ちが伝わってきてとても悲しい思いをしたのだなと感じた。

<ややそう思う>

- ・当時の記憶がない私たちにとって貴重なお話だったから。
- ・被災した人の意見を直接聞けたから。
- ・当時の状況が分かりやすかった。

5 最も印象に残っているプログラムはどれでしたか？

15 件の回答



- 【東京電力福島第一原子力発電所】視察
- 【震災遺構「請戸小学校」】【請戸浜】視察
- 【東日本大震災・原子力災害伝承館】展示見学
- 【東日本大震災・原子力災害伝承館】語り部講話
- 特になし

<「東京電力福島第一原子力発電所」視察>

- ・映像や写真では分からない現実の深刻さと向き合うことができたから。
- ・原発の様子をまじかで見られる機会はとても貴重な体験だと思ったから。
- ・発電所を訪れることで働いている人の努力や責任を特に感じられたから。
- ・実際に見ると迫力があり、貴重だったため。
- ・実物を実際に見るとやっぱり印象に残りました。
- ・直接原子力発電所を見れたから。
- ・原子力発電所をこんなに近くで見たのは初めてで、福島復興の現状や廃炉に向けて作業してくださっている方々への感謝を感じられるとてもいい経験になったと思うから。
- ・原子炉建屋に未だ撤去しきれずに残っていたがれきや建物の割れたままの窓などの生々しい爆発の跡の光景が記憶に鮮明に残っているから。
- ・以前ゲームなどの創作物の影響でチェルノブイリの事故について調べたことがあり、原子炉そのものや周辺の環境について気になっていたからです。また発電所内の保安体制や放射線の検査も気になっていたので個人的には1番充実した視察でした。
- ・実際の現場を見て、事故の深刻さや廃炉作業の大変さを実感することが出来たから。
- ・一号機に残っている瓦礫などから爆発の大きさを知れたから。
- ・実際に事故が起きた現場を見ることができたこと、そして現在の取り組みを知れたから。
- ・事故現場を実際に見て、何か感じるものあって大切なものを手にしたと思う。

<「東日本大震災・原子力災害伝承館」展示見学>

- ・展示物が多くていろんなことが学べたから。

<「東日本大震災・原子力災害伝承館」展示見学>

- ・これからの自分たちに必要な事や、「受け継ぐ」という大切さ、当時の過酷さが強く心に残ったから。

6 今回のプログラムはあなたにとって有意義でしたか？

15件の回答



- 私たちに説明や体験談を話してくれた人たちは私たちにその意思を継いでほしいと思って話していたと思います。だから私たちがその意思を継ぎ、まずは身近な人たちに私の聞いたことや体験した出来事を話していきたいと思っています。そして将来的にたくさんの活動に参加して私たちの次の世代へ意思を継いでいきたいと思っています。
- 原発についてより興味が湧いた。
- 今回のプログラムはたくさんの立場からの意見が聞けて有意義だった。
- 今現在福島は復興に向けて着実に足を進めていたことがよくわかった。
- 見学したことを忘れずにいろんな人たちへ伝えていきたい。
- 震災については前から知っていましたが、今回の研修を通して改めて自分はまだまだ知らないことが多かったと感じました。
- 改めてこの震災は風化させては行けないものだと思います。そして今回体験したことを将来活かせたらいいなと思いました。
- 大したことにはならないという油断が、事態を悪化させてしまうということの木野さんのお話や語り部講話などから感じました。
- 今回のプログラムに参加して、「知っているつもり」だった震災や原発事故の現実が、自分の中で大きく変わったと感じた。
- 今回のプログラムを通して、震災や原発事故は「過去の出来事」ではなく、今も続いている問題であることに気づきました。特に、東京電力福島第一原子力発電所の視察では、廃炉に向けた作業が何十年もかかるという現実には衝撃を受けました。また、語り部の方のお話から、東日本大震災を忘れてはいけないなと改めて思いました。
- 今後、私たちが震災について学び続ける責任があると感じました。”
- 沢山の人が復興のために努力している姿やこれからの福島を大切にしていきたいという姿がこのプログラムに参加して見る事が出来て自分自身も原爆だけでなく福島の魅力をたくさんの人に伝えるお手伝いをしたいととても思いました。
- 原発事故や東日本大震災のことを知らなすぎるが故に他人事として捉えてしまっていたが、自分の目

で現状や当時の状況を理解することで自分の認識の甘さを感じた。また、廃炉に関する研究に少し興味を持ったので、より調べて見たいと思った。

- 今回プログラムに参加して、より多くの人に東日本大震災や福島復興について知ってもらいたいと思いました。今回私がたくさんの人に伝えて貰ったように自分も誰かに伝えていける 1 人になりたいと感じました。
- 私は浜通りの各市町村や帰還困難区域の周辺に今まで何度か来たことがあり、その時見えた民家が妙に印象に残っていて、その記憶を確認したい気持ちや、チェルノブイリに関連する知識欲のために、今回の視察に参加しました。工場の規模や事故と津波のかなり詳細な情報を公開していることに驚き、原子炉の大きさに圧倒され、自分の中の凝り固まった人も建物もない閉鎖的ないわきのイメージが刷新されました。またバスの中で先生の新聞の切り抜きのファイルを拝見させて頂き、世の中には震災で大きな影響を受けた人がいて、現状を変えようとした人が存在したのだということを実感しました。自分が今まで知っていた情報がどれだけ断片的で、現実に即していないか思い知ることができて本当に良かったです。今回のプログラムを企画していただいた先生や東京電力の職員の方々には感謝しています。ありがとうございました。
- 今の日常に感謝すること。